



輸血実施時の留意点



輸血前

- ①輸血用血液の保管法
 - ・病棟への運搬時は、保管温度の異なる製剤を同じバックに入れないこと
- ②輸血用血液の外観検査
 - ・色調・溶血・凝集塊・破損
- ③1患者1トレー
- ④各項目を複数名で声を出して読み合わせ、記録する
- ⑤輸血前の患者観察
 - ・体温・血圧・脈拍・SpO2

輸血中

- ①輸血開始直後の患者の観察
 - ・輸血開始時は緩やかに（1 mL/分）
 - ・輸血開始5分間はベッドサイドで観察
- ②輸血開始後の観察
 - ・輸血開始後15分程度経過した時点で再度観察（5 mL/分）
 - ・その後も輸血が終了するまで適宜観察（15～30分程度）

輸血後

- ①確認事項
 - ・再度患者氏名・血液型・血液製剤番号等を確認、記録（記録の保存は20年間）
- ②輸血後の観察
 - ・TRALIなど輸血後の重篤な副作用を呈することがある。輸血後も継続的に患者を観察。外来輸血患者への注意喚起。



0:33:26

0:00:54

ここに入力して検索

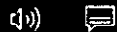
12:40
2021/01/08

輸血とは

- ・ 失った血液成分や機能を補なう補充療法
- ・ 血液製剤は特定生物由来製品
- ・ 一番身近な臓器移植
- ・ 輸血実施時には患者または家族への
インフォームド・コンセントが必要
- ・ 副作用などリスクを完全に回避することはできない

安全な輸血療法のために

0:13:26



0:00:54

